
盟和産業株式会社

2025年3月期 決算説明会資料

2025年5月30日



- I 決算レビュー**
- II 通期業績見通し**
- III 中期経営計画 重点課題の取組み**
- IV 株主還元**
- V (ご参考) 売上高の内訳等**

I 決算レビュー

決算の主なポイント

- ◆ **連結業績回復、営業、経常、最終、すべての段階損益黒字化**
- ◆ **中期経営計画MWX2030の収益基盤強化に取組み、コロナ前を上回る利益を確保**
- ◆ **材料費や労務費等コスト上昇分の価格転嫁を進め、原価低減と合わせ取引採算改善**

連結業績の概要

(百万円)

22,394
23,250

為替変動影響 + 430

■ 2024/3期

■ 2025/3期

材料費や労務費等コスト上昇分の価格転嫁
原価低減の効果等

有価証券売却益 + 165

505

435

452

△ 422

△ 448

△ 305

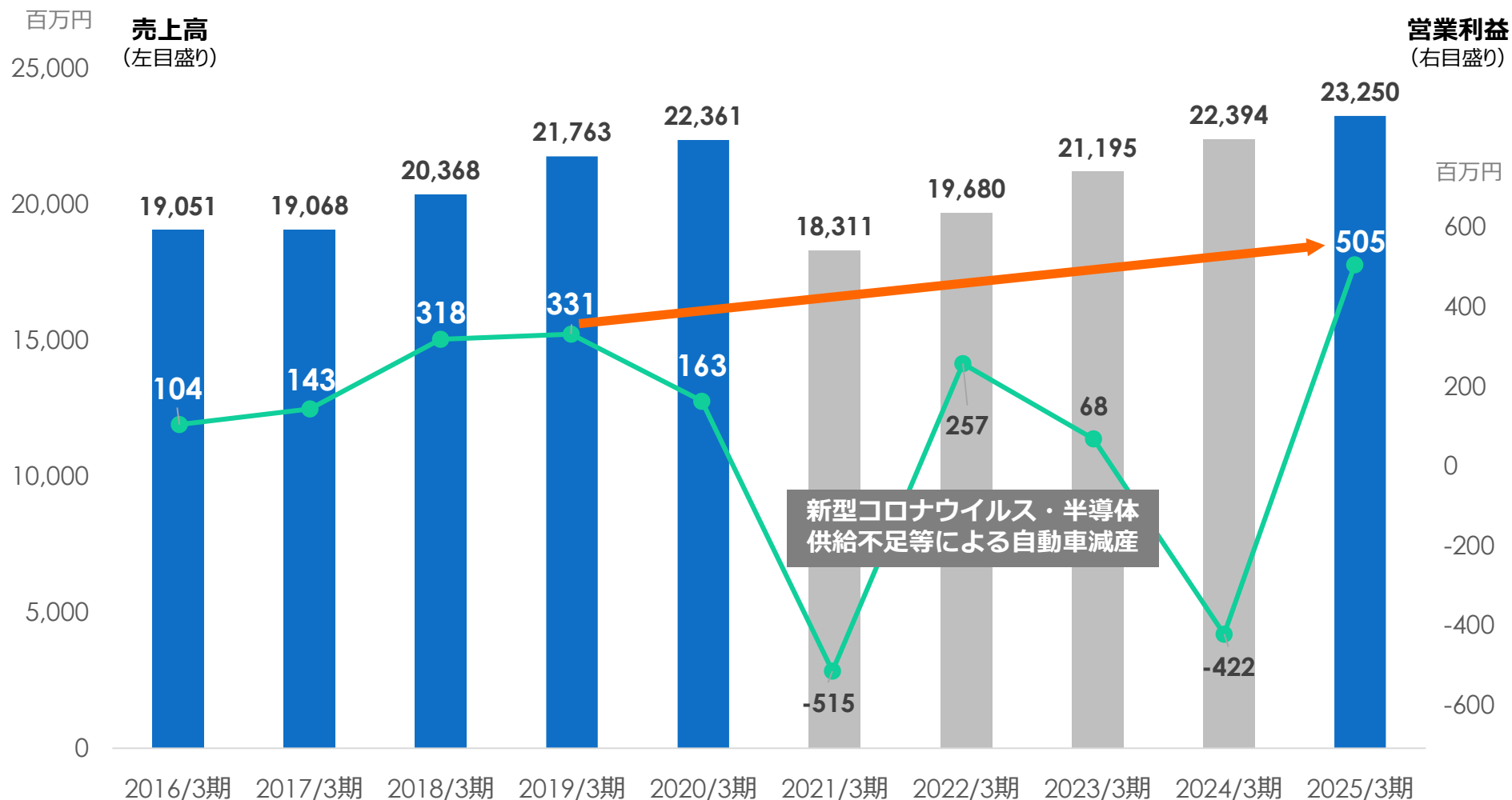
親会社株主に帰属する
当期純利益

売上高

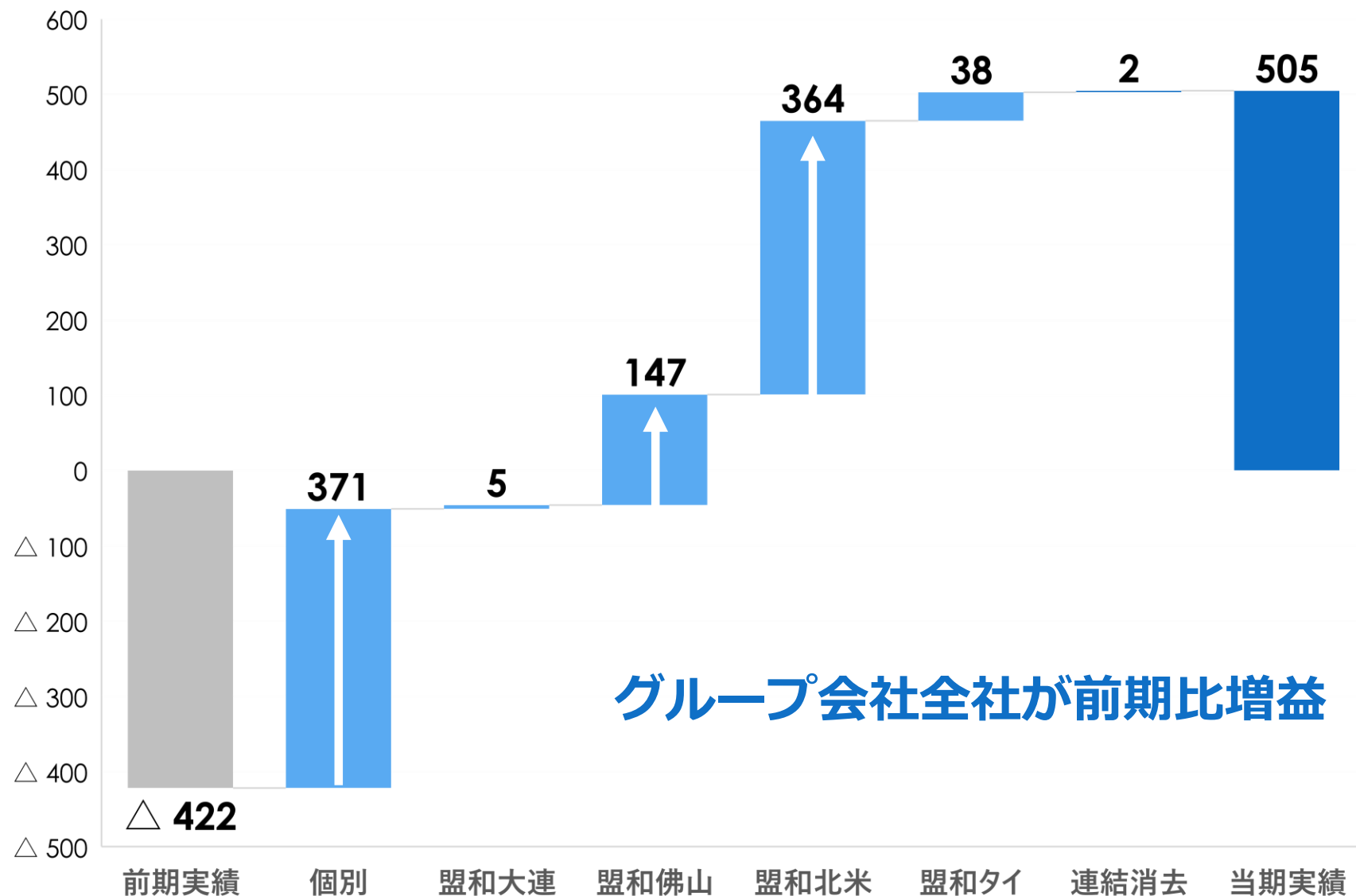
営業利益

経常利益

連結売上高・営業利益推移



営業利益前期比増減（グループ会社別）

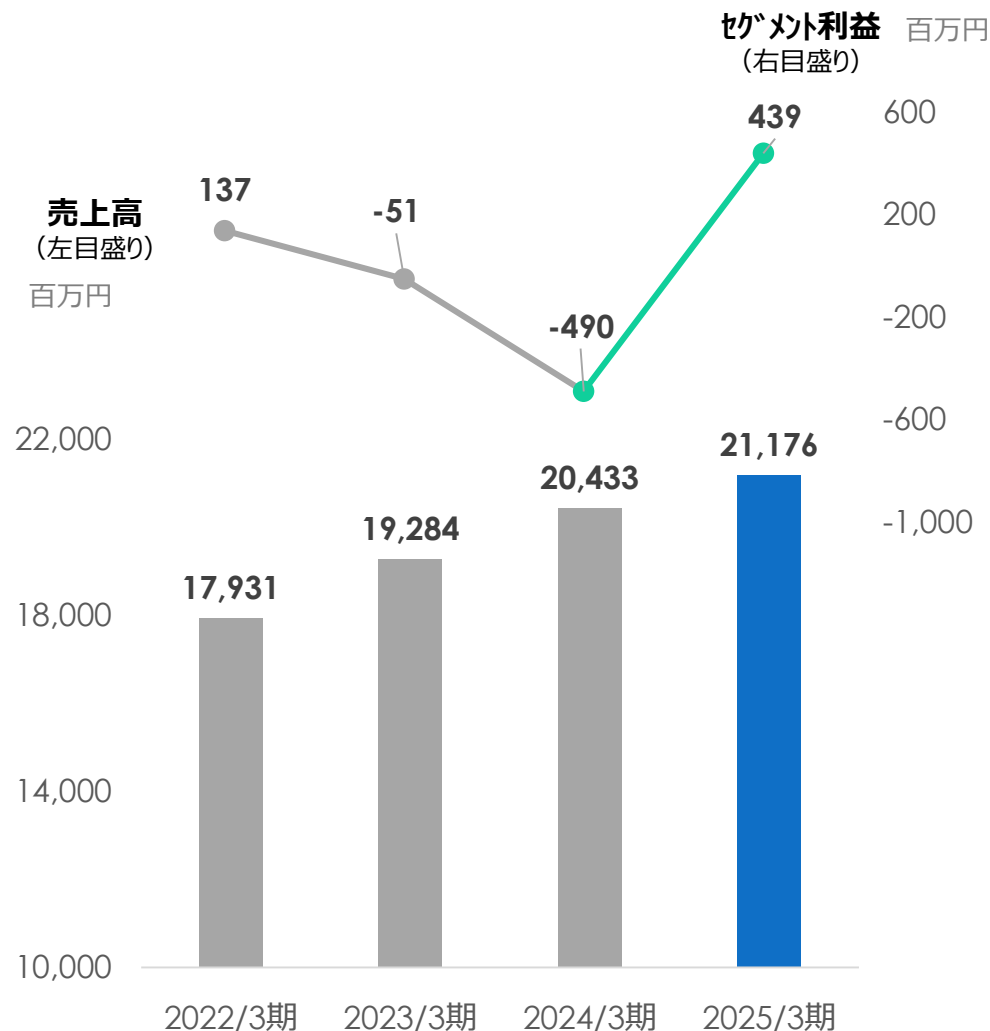


自動車セグメント業績

◆前期比増収

◆セグメント利益黒字化

自動車セグメント業績推移

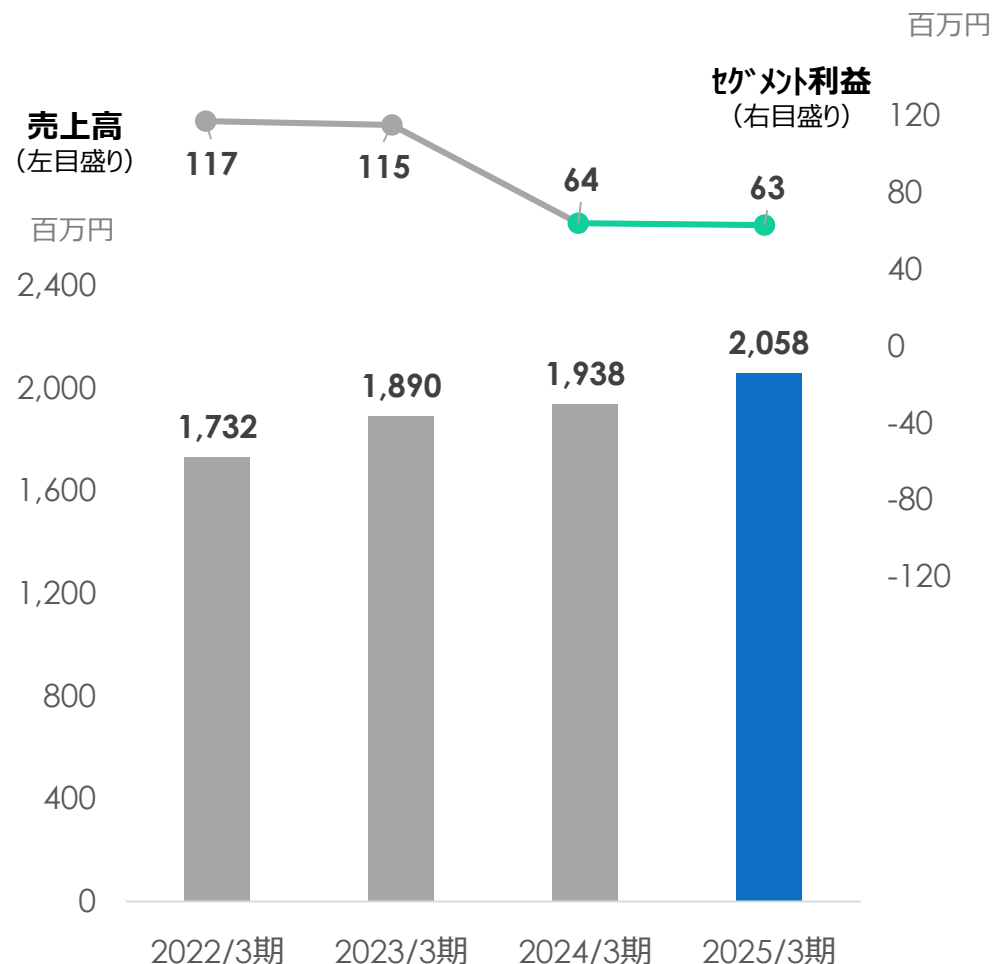


住宅セグメント業績

◆**住設資材堅調**
コスト上昇あるが
住設資材を中心に
底堅く推移

◆**受注量増加**
住設資材の受注量
増加

住宅セグメント業績推移

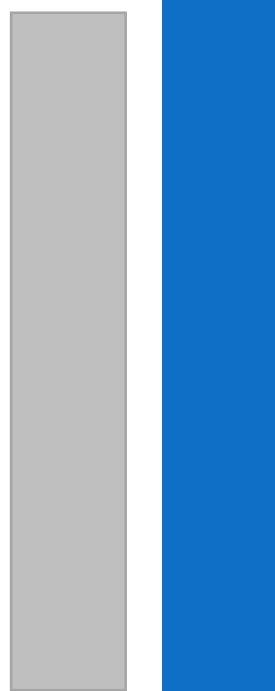


Ⅱ 通期業績見通し

通期業績見通し

(百万円)

23,250 23,500



25/3期後半の量産開始
車種が通期で寄与

為替レート145円/ドル

505



430

米国追加関税の影響を
前提を置いて織込

435



270

2025/3期実績

2026/3期予想

有価証券売却の
計画無し

452



180

親会社株主に帰属する
当期純利益

売上高

営業利益

経常利益

米国追加関税の影響

- 現時点で米国追加関税の影響を見通すことは困難のため
下記内容で業績予想に織込、状況変化に応じて見直す

(2025年4月末時点)

(百万円)

	取引内容	売上影響	損益影響
国内	米国が仕向地の自動車向け部品	-170	-50
海外	当社グループ内仕入	—	-50
合計		-170	-100

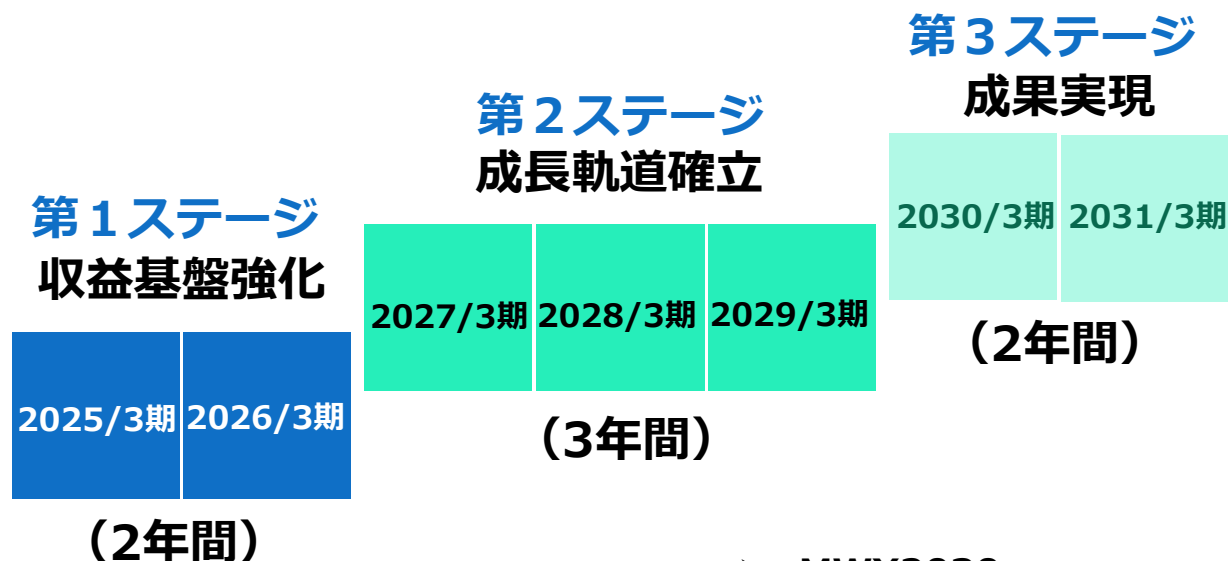
	関税織込前 業績予想	関税織込後 業績予想	関税影響 (想定)
売上高	23,670	23,500	-170
営業利益	530	430	-100

Ⅲ 中期経営計画 重点課題の取組み

中期経営計画MWX2030の概要

- 期間 2025年3月期～2031年3月期（7年間）
- 数値目標 売上高270億円/当期純利益9億円/ROE8%以上
- 3段階のステージ

MWX2030



- **MWX2030** : MWはMEIWAの略称
2030年に向けた盟和産業の変革、トランスフォーメーションを表す

中期経営計画MWX2030の重点課題

	項 目	取組内容（例）	
収益力 強化	取引採算の改善	販売価格の適正化、低採算取引見直し	
	一貫生産体制強化	購入部品の内製化等	
	製造・管理の効率化	省人化・省エネルギー設備導入、DX活用	1
	原価改善	グループ全体での買い方、作り方、運び方改善	
成長戦略	新分野開拓	保有技術を活かした関連分野の開拓	
	循環型の物造り	CE（サキュラーエコノミー）への対応	
	既存分野拡販	新製品受注、取引シェア拡大、非日系顧客開拓	2
E S G 経営	カーボン・ニュートラル推進	2030年までにCO2排出量2013年度比半減	3
	人的資本の拡充	層別人員体制確保、海外拠点技術者の現地化	
	資本コストや株価を意識した経営	株主価値の向上、ROE・PBR等指標改善	

① 自動化・省人化設備導入例

シートバック芯材 端末加工設備

目標：作業者の省人 2名 ⇒ 1名

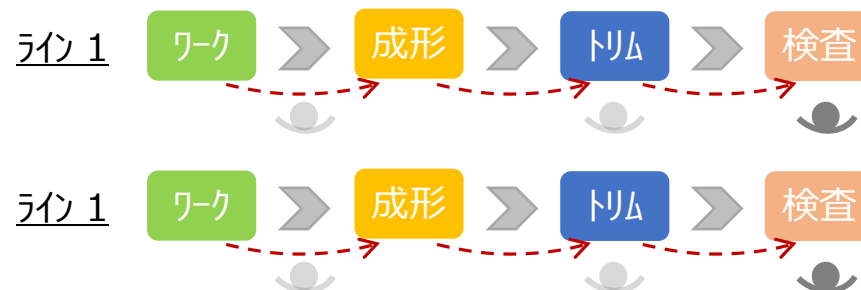
【目標を達成】

- ・ワーク投入を自動化し、人の作業を削減
- ・2ラインを併設し、人の作業を一カ所集約

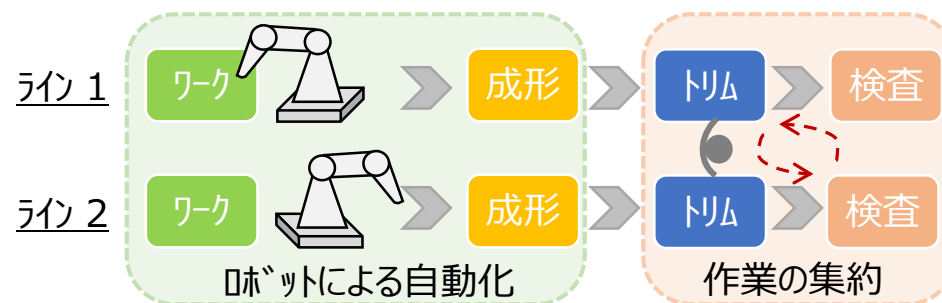


＜従来＞ 1工程に作業者1名を配置

※作業者 動線 --->



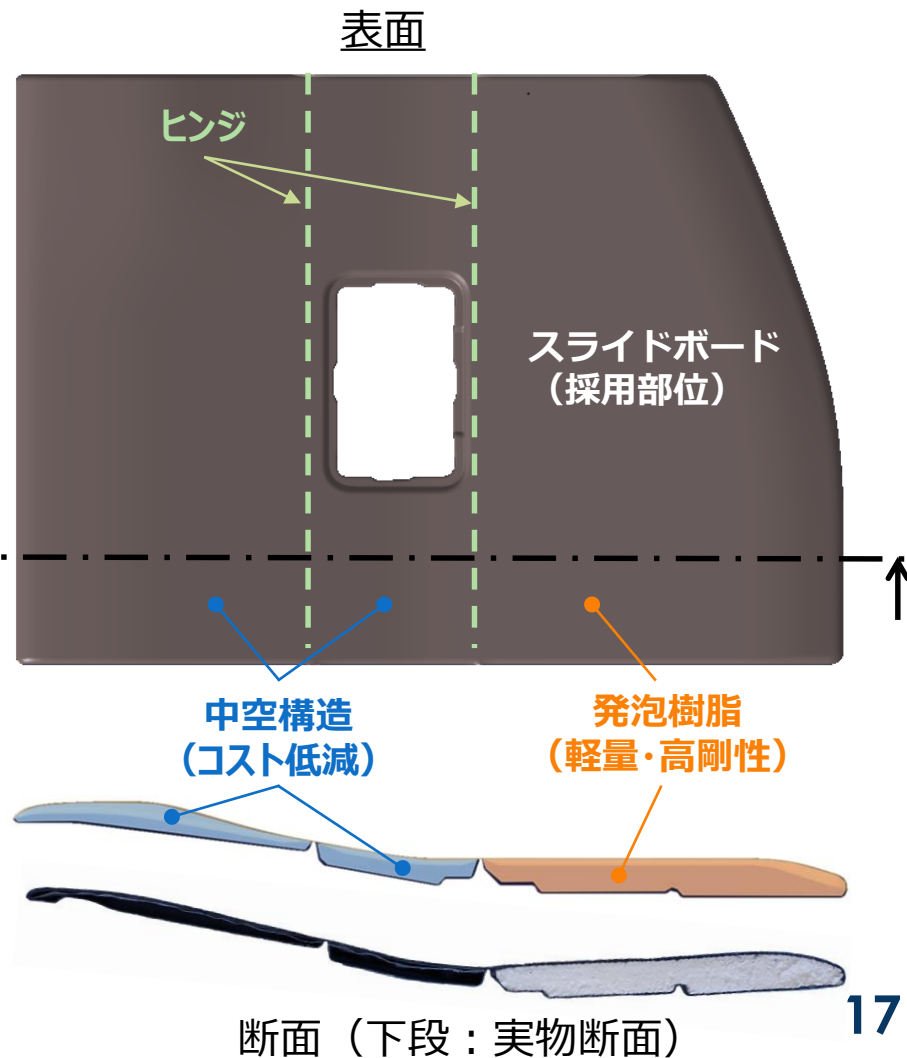
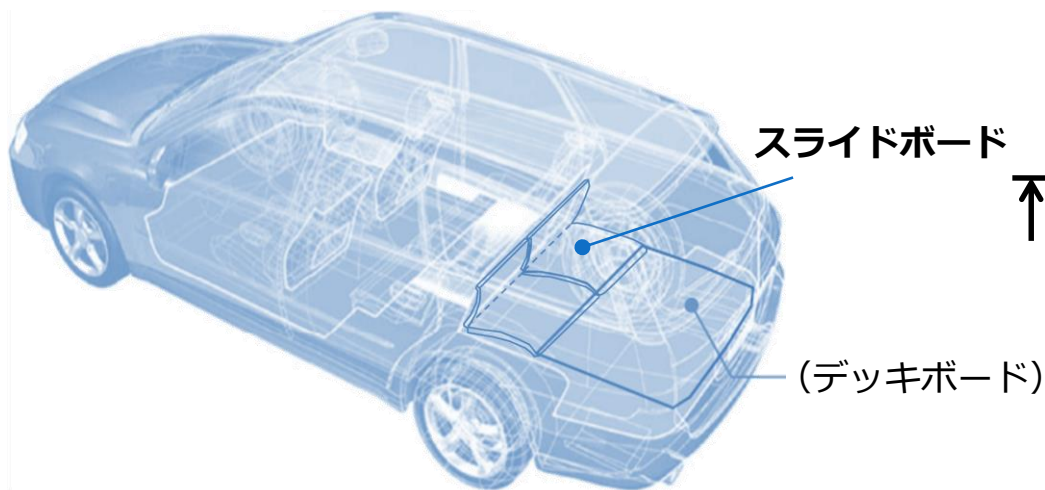
＜新工程＞ 2工程に作業者1名を配置



② 新製品受注 既存技術を融合させたハイブリッド製品

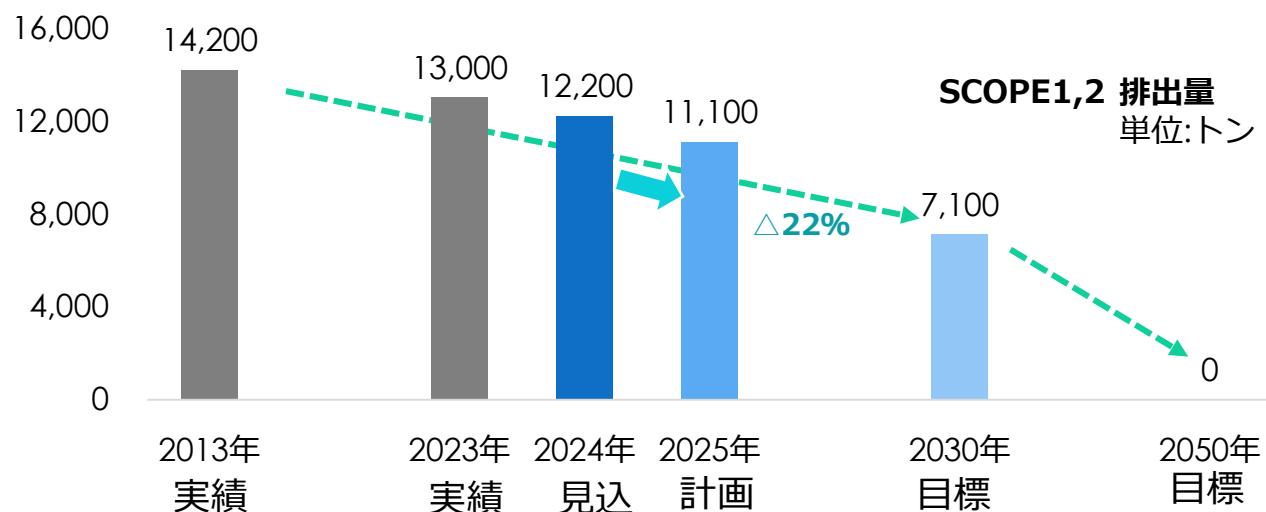
➤ 当社製品のゼムライトを更に軽量化かつコストダウンした 開発品が量産車に採用

* ゼムライトのコア材（発泡樹脂）を
部分的に廃止
中空構造（シコーシート）とすることで、
軽量化とコスト低減を両立



③ カーボン・ニュートラル推進

◆ **目標** 2050年カーボンニュートラル達成
2030年度までにCO2排出量2013年度比半減



➤ 2025年度排出量
計画 11,100 t

2013年度対比
22%削減

◆ **取組** CO2フリー電力へ順次切替
省エネルギー活動（電力使用効率化・平準化、LED化等）
高効率機器への設備更新

新技術開発 開発テーマ（例）

NO	分野	開発テーマ		期待する効果	SDGsとの関連
1	自動車 内装部品	顧客とのCE・CN対応製品 共同開発	CN	資源循環	1 2、1 3
2		ガラス繊維強化 PPハニカム構造体	CN	資源循環	1 2、1 3
3		デッキボードの競争力強化	2	コスト競争力	1 2、1 3
4		現有設備を用いた新用途開発		収益拡大	1 2、1 3
5		社内端材リサイクル製品	CN	資源循環	1 2、1 3
6	生産工法	シートバック芯材 端末加工設備	1	省人化	9
7		ラゲージボード 新生産設備	CN	省エネ	7、1 2
8		新超音波溶着設備	CN	省人化	7、9、1 2

■ 研究開発費 （技術者の人件費等を含む）

2025年3月期 5.1億円



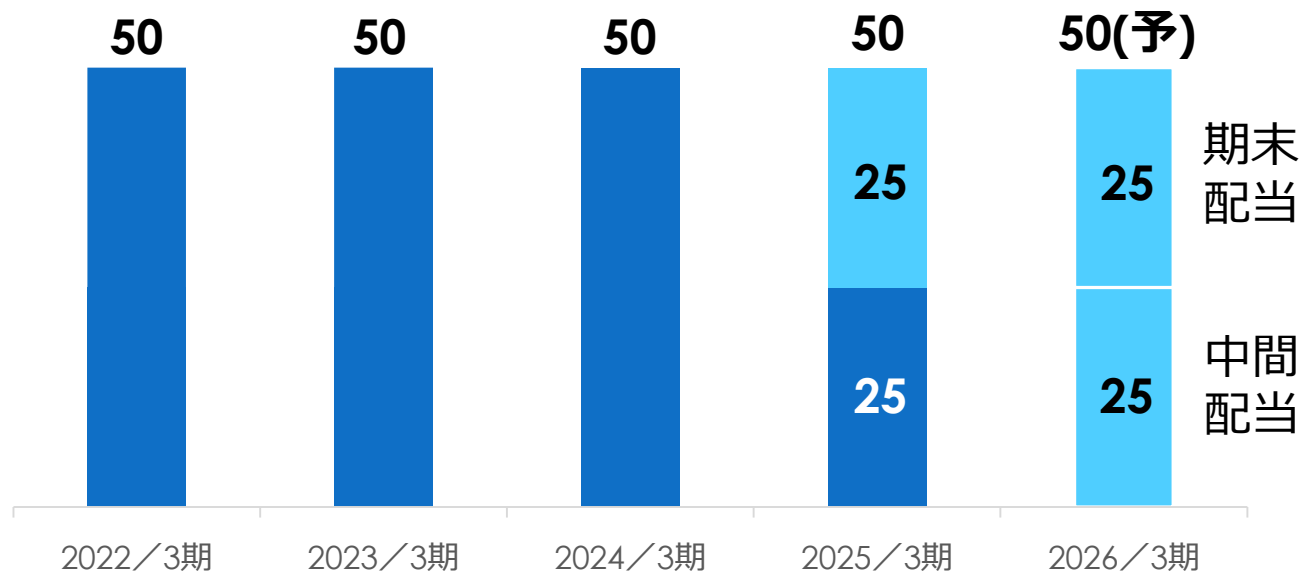
IV 株主還元

利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

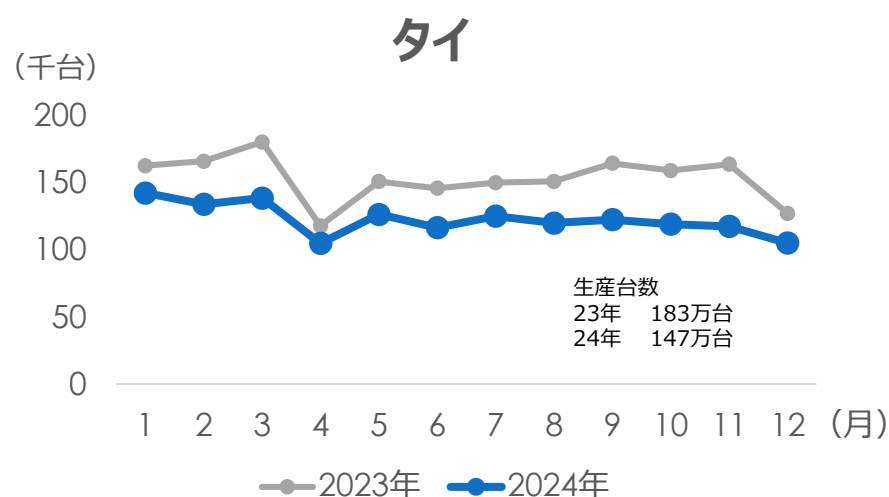
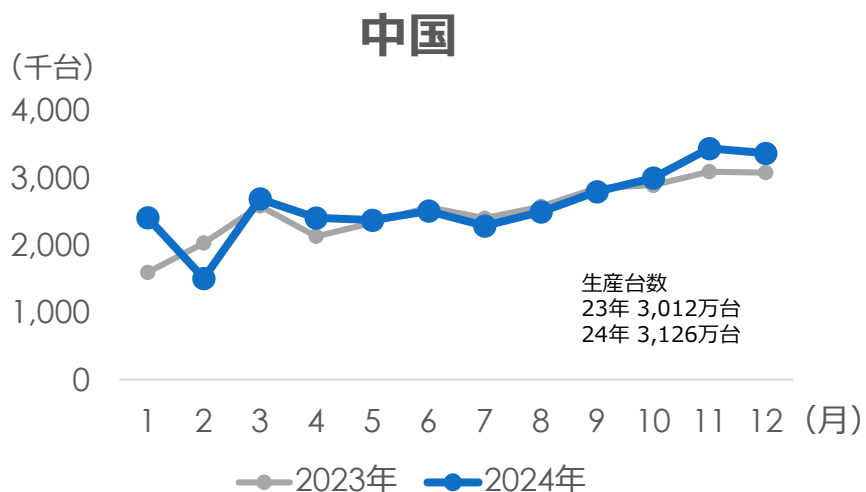
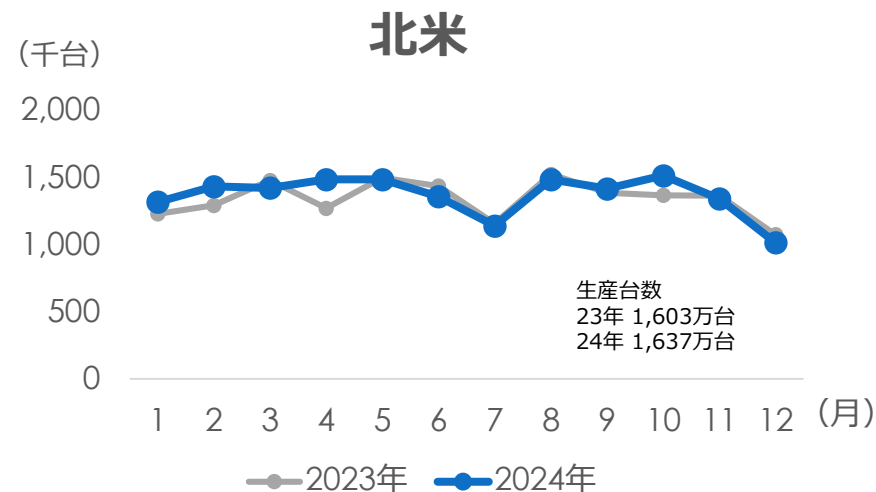
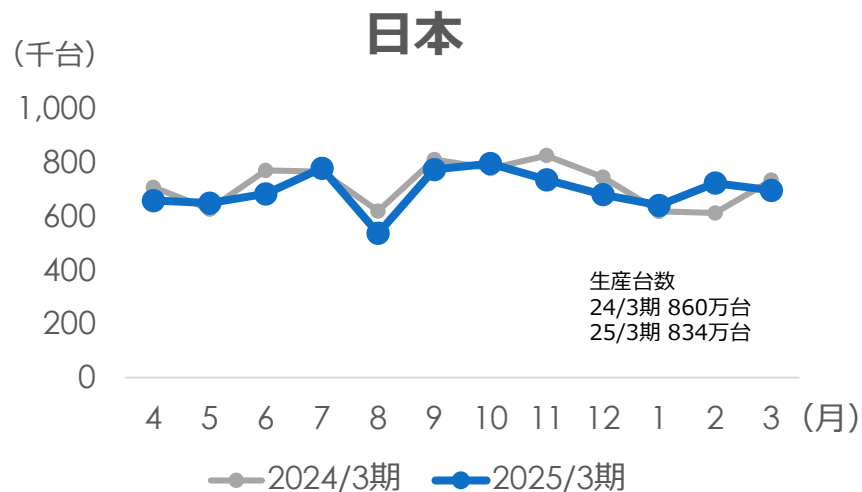
一株当たり配当金の推移

(単位：円)

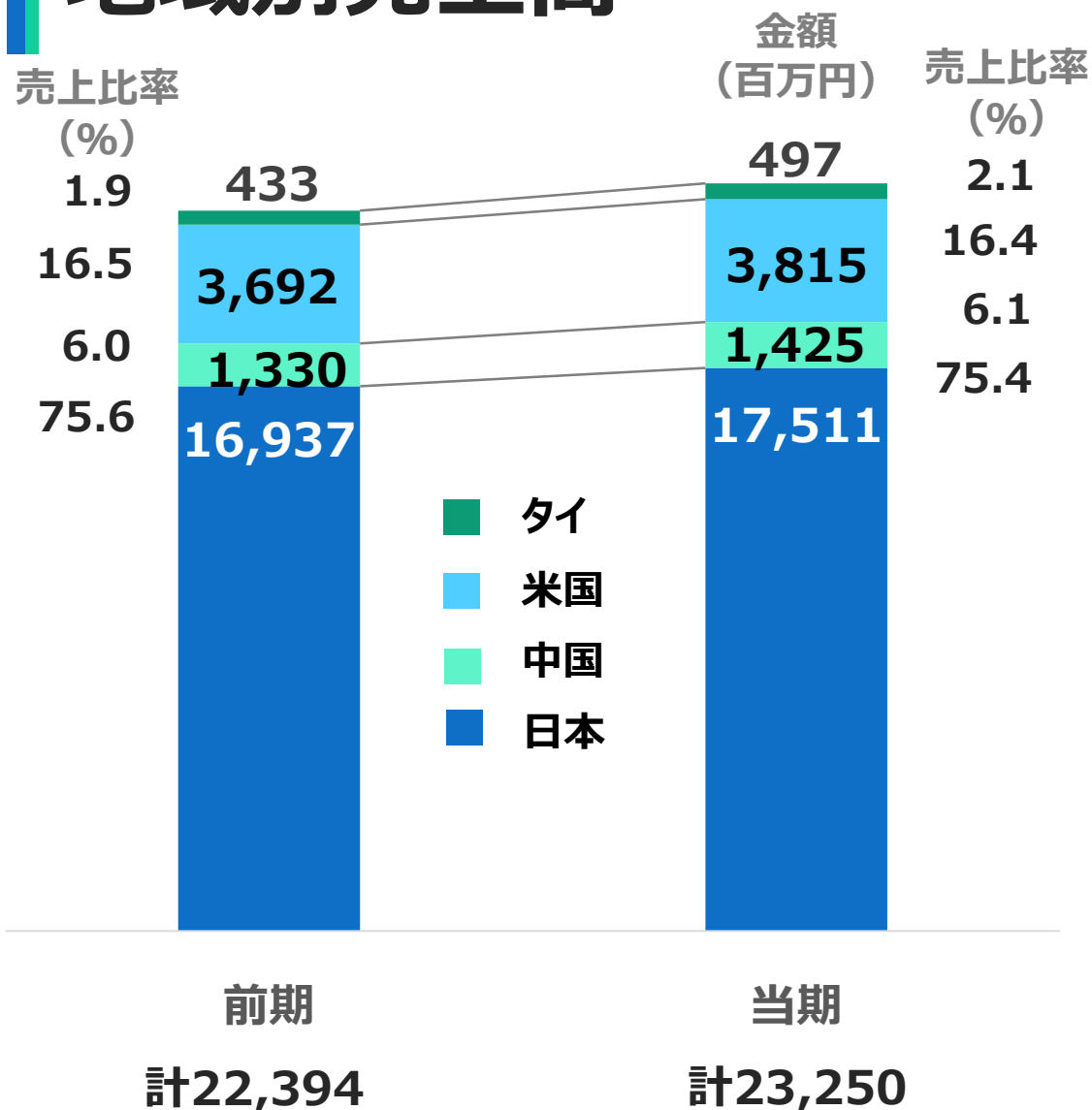


V (ご参考) 売上高の内訳等

自動車生産台数推移（月別）



地域別売上高



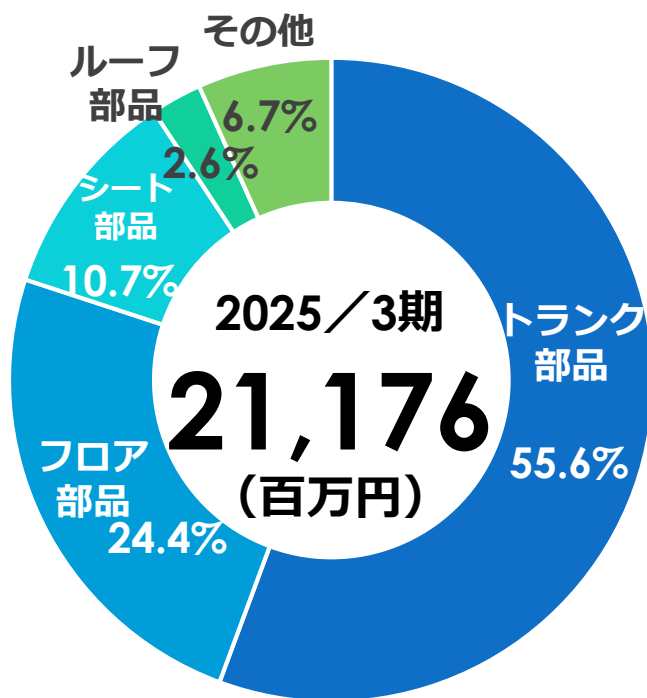
■ 全地域で増収

■ 海外売上比率24.6%
前期比0.2ポイント増

自動車部品の部位別売上高

売上構成はトランク部品が約 5 割

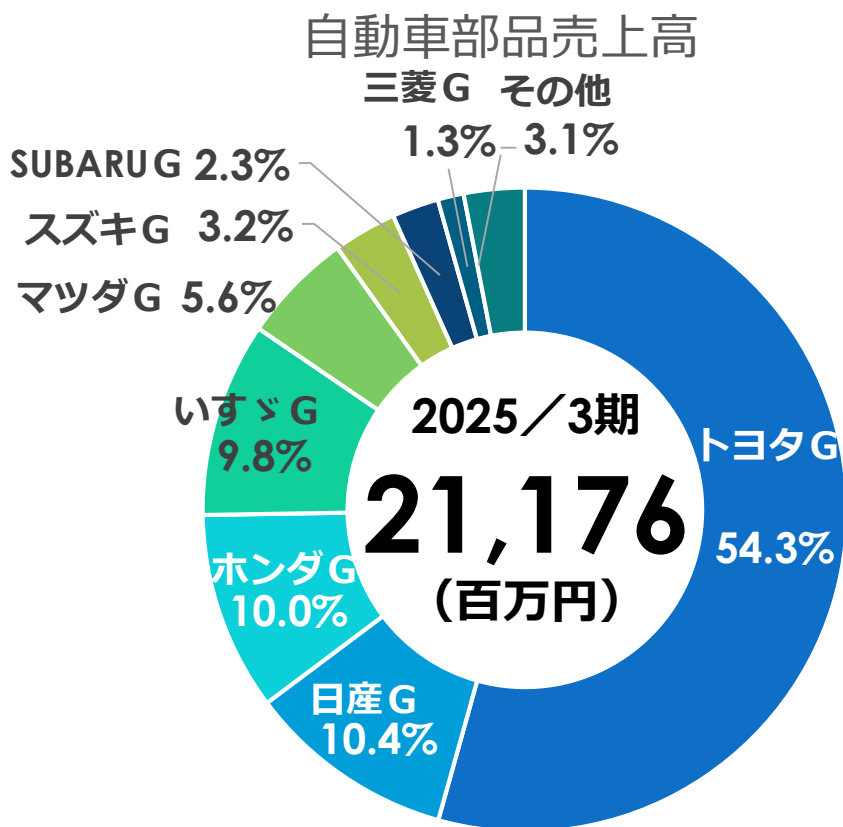
自動車部品売上高



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	11,783	55.6
■ フロア部品	5,168	24.4
■ シート部品	2,255	10.7
■ ルーフ部品	543	2.6
■ その他	1,425	6.7

自動車部品のメーカー別売上高

トヨタグループ向けが約 5 割



	金額 (百万円)	構成比 (%)
トヨタG	11,505	54.3
日産G	2,210	10.4
ホンダG	2,112	10.0
いすゞG	2,068	9.8
マツダG	1,185	5.6
スズキG	674	3.2
SUBARUG	496	2.3
三菱G	276	1.3
その他	646	3.1

バランスシートの概要

(百万円)

資産合計
24,765

資産合計
24,975

負債純資産合計
24,765

負債純資産合計
24,975



2024/3月末



2025/3月末

流動資産 + 81
現預金 △ 889
電子記録債権 △ 379
売掛金 + 1,100

固定資産 + 129
建設仮勘定 + 282
投資有価証券 △ 89



2024/3月末



2025/3月末

流動負債 △ 693
支払手形及び買掛金 △ 593
短期借入金 + 271
1年内返済長期借入金 △ 395

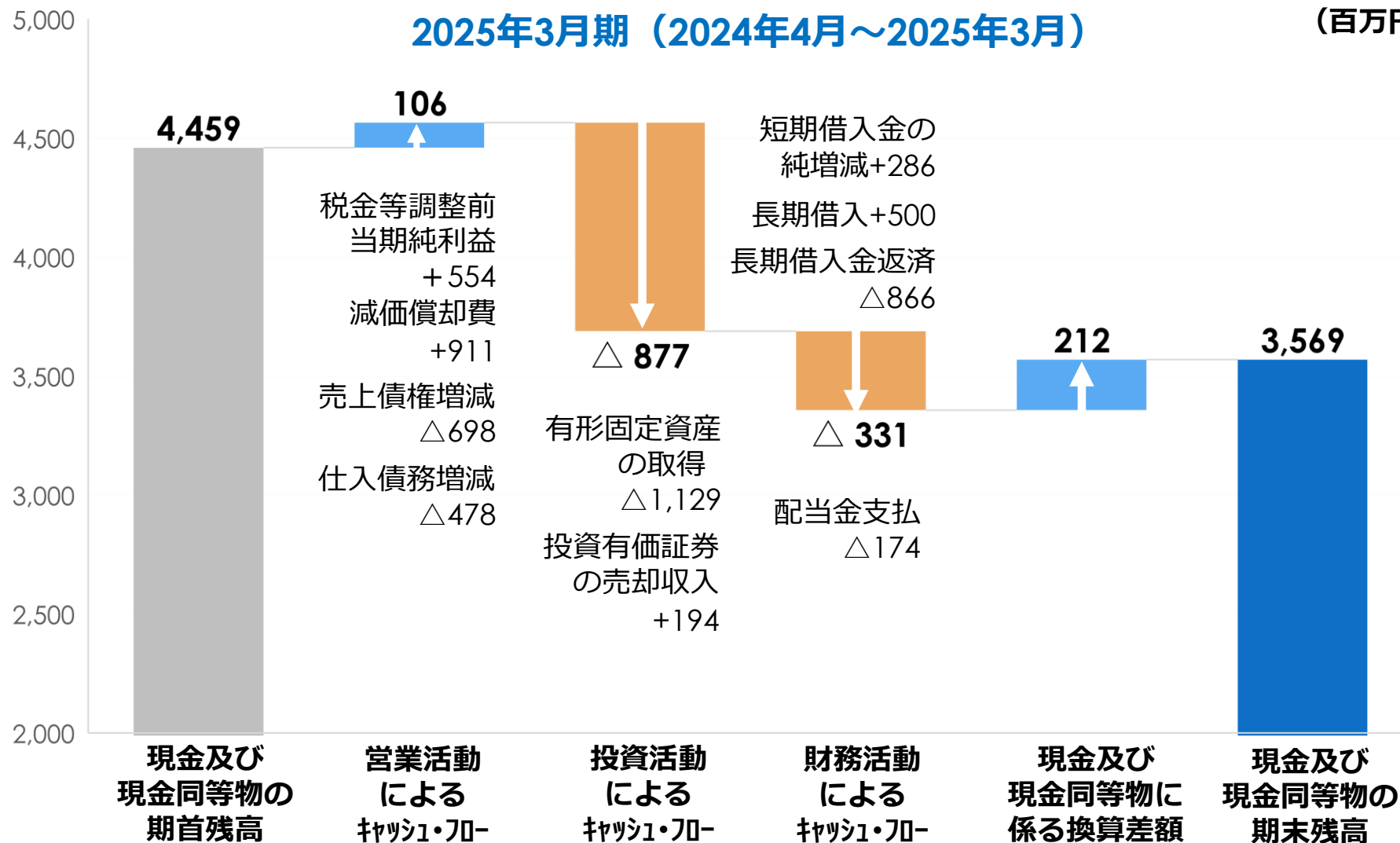
固定負債 △ 83

純資産 + 986
利益剰余金 + 277
為替換算調整勘定 + 762

キャッシュ・フロー計算書の概要

2025年3月期（2024年4月～2025年3月）

（百万円）



本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。

盟和産業株式会社

